

放熱ギャップフィラー SDPシリーズ

SDP-1030-A/B、SDP-2060-A/B、SDP-3540-A/B、SDP-5040-A/B

特長

- 二液混合により、室温で硬化する放熱材料です。
- 未硬化時は形状保持性に優れており、三次元塗布が可能です。
- 塗布時はグリース状で基材表面によくなじむため、接触熱抵抗を低減できると同時にそのままの形状で硬化するため、オイルブリードやポンプアウトの懸念がありません。
- 硬化後の硬度が低いため、部品への負荷を低減できます。
- 基材への接着性がないため、リワーク可能です。
- 付加反応による硬化のため、加熱による硬化時間の短縮が可能です。
- 熱伝導率のラインアップは1.0W/m・K、2.0W/m・K、3.5W/m・K、5.0W/m・Kです。

用途

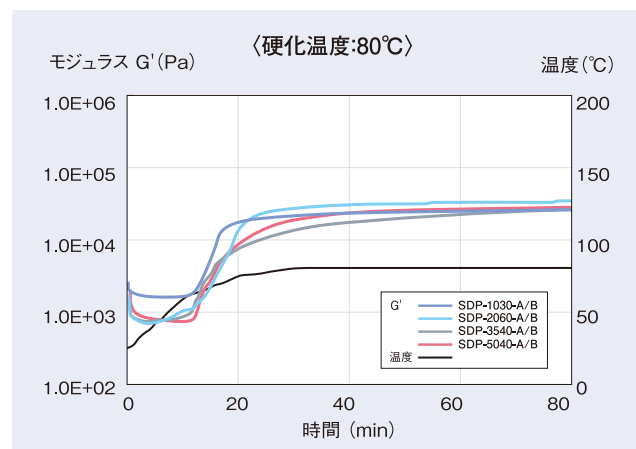
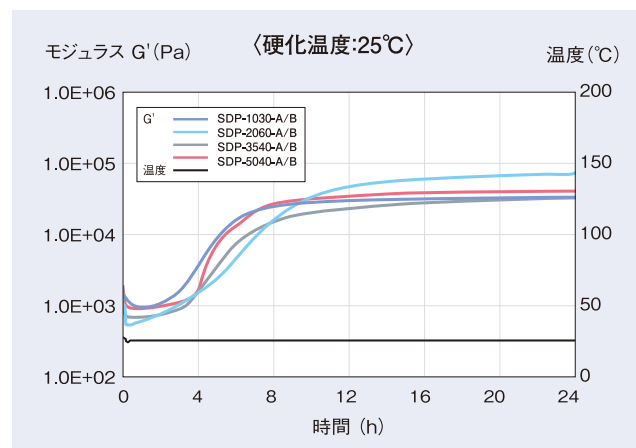
車載電装ユニット、電源ユニット、LED照明モジュール、その他クリアランスの大きい部位の熱伝導

一般特性

項目			製品名	SDP-1030-A/B	SDP-2060-A/B	SDP-3540-A/B	SDP-5040-A/B
硬化前	外観			A:白色 / B:淡青色	A:白色 / B:淡青色	A:白色 / B:灰色	A:灰白色 / B:ピンク色
	粘度 25℃	Pa・s		A:102 / B:55	A:99 / B:71	A:103 / B:72	A:180 / B:162
	配合比率			100 : 100			
	混合後粘度 25℃	Pa・s		74	81	89	169
	指触乾燥時間	h		6	6	6	6
	比重 25℃			A/B:2.45	A/B:2.87	A:3.08 / B:3.07	A:3.25/ B:3.26
	標準硬化時間			25℃×24h			
硬化後	硬さ	ショア00		32	57	44	42
		アスカーC		10	25	17	16
	引張強さ	MPa		0.3	0.3	0.1	0.1
	切断時伸び	%		480	70	40	30
	絶縁破壊の強さ	kV/mm		19	18	20	21
	体積抵抗率	TΩ・cm		2.3	2.5	1.8	3.1
	熱伝導率	W/m・K		1.1	2.3	3.5	5.1

(規格値ではありません)

硬化性データ

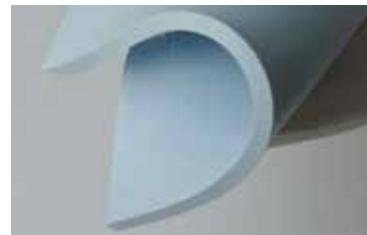
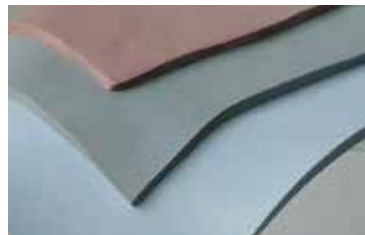


性状

- 硬化前：グリース状で基材表面によくなじみます。



- 硬化後：軟らかいシート状に硬化します。



ShinEtsu